



©武上秋津「樹海の華」

企画展

武上秋津 版画作品展 「風の彩」

2026 9/11金～10/12月祝

- 開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで) ■休館日／毎週火曜日、9/22(火)開館、9/24(木)振替休館
- 入館料／一般1,100円(900円) 大学生550円(450円) 高校生以下無料
- * ()内は団体料金 20名以上 *身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方1名は無料。
- 主催／安来市、安来市教育委員会、安来市加納美術館 ■協力／山陰ケーブルビジョン

このチラシをご持参の方は100円割引。他の割引特典とは併用不可



平和を願い続ける美術館
安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27
Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>
E-mail: info@yasugi-kano-museum.com



企画展 『ひろしまの子』絵本原画展

二人で描いた、 ひとつの願い

詩は、
絵になった。
四國五郎の詩
×
長谷川義史の絵

2026 9/11金～
10/12月祝

- 開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)
- 休館日／毎週火曜日、9/22(火)開館、9/24(木)振替休館
- 入館料／一般1,100円(900円) 大学生550円(450円) 高校生以下無料
- * ()内は団体料金 20名以上 *身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方1名は無料。
- 主催／安来市、安来市教育委員会、安来市加納美術館
- 協力／山陰ケーブルビジョン

このチラシをご持参の方は100円割引。他の割引特典とは併用不可



第11回
安来市平和のつどい
関連事業

©長谷川義史「ひろしまの子」(BL出版)



平和を願い続ける美術館
安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27
Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>
E-mail: info@yasugi-kano-museum.com



第11回
安来市平和のつどい
関連事業

二人で描いた、ひとつの願い

『ひろしまの子』絵本原画展

2026 **9/11 金**～**10/12 月 祝**

詩は、
絵になった。
**四國五郎の詩
×
長谷川義史の絵**



©長谷川義史
『ひろしまの子』
(BL出版)



本展では、詩人・四國五郎さんと絵本作家・長谷川義史さんによる絵本『朗読詩 ひろしまの子』の原画と詩をご紹介します。

あわせて、広島の被爆者が自らの被爆体験をもとに描いた「市民が描いた原爆の絵」と、その制作を支えた四國五郎さんの資料、さらに安来市出身の版画家・武上秋津さんによる色彩豊かな作品を展示します。

三つの展示をめぐりながら、失われたいのちへの思いと、今を生きる喜びについてともに考えるひとときとなれば幸いです。

企画展1 二人で描いた、ひとつの願い

A
展示室

『ひろしまの子』絵本原画展

1980年に四國五郎さん(1924～2014)が書いた詩に絵本作家・長谷川義史さんが絵を描き、2025年に二人の合作絵本『朗読詩 ひろしまの子』(BL出版)が誕生しました。『ひろしまの子』の原画のほかに長谷川義史さんの絵本3点の原画、また四國五郎さんの詩を展示します。子どもたちの幸せを願う、時代を超えた二人の合作です。

長谷川義史氏プロフィール

1961年、大阪生まれ。
独特のタッチとユーモアあふれる作風で、社会性のあるテーマにも意欲的に取り組んできた。未来を担う子どもたちに、絵本ライブ「こどもたちGO!」を各地で開催。「ぼくがラーメンたべるとき」で日本絵本賞、小学館児童出版文化賞を受賞。「へいわってすてきだね」から引用)



B
展示室

平和資料「市民が描いた原爆の絵」

四國五郎さんは、1974年に始まった「市民が描いた原爆の絵」プロジェクトで、被爆者の記憶を絵として残す活動を支援しました。

「市民が描いた原爆の絵」(複製)30点と四國五郎さんが遺したプロジェクトの資料を合わせて展示します。

企画展2 風の彩

C
展示室

武上秋津 版画作品展

安来市出身の版画家武上秋津さん(1936～2024)は、国画会正会員であり版画部門の審査員も務めました。

一方、山陰合同銀行の役員も務めるなど、ビジネスマンとしての顔もありました。そのどちらにも足跡を残した稀有な人物です。

武上さんの作品の中から抽象的で色彩豊かな作品を中心に約30点を展示。その作品は生きる喜びにあふれています。



©武上秋津「秘曲」

武上秋津氏プロフィール

1936年、大阪市生まれ。7歳から安来市で暮らす。山陰合同銀行入社。以後、ビジネスマンとして活躍する。同時に幼いころから親しんだ絵画や版画の制作に積極的に取り組んだ。島根洋画会、国画会正会員。また国画会では版画部門の審査員を務めた。2024年没。

アートdeトーク(対話型鑑賞会)

9月23日(水・祝) ①11:00～ ②13:30～

ひとつの作品を見ながら感じたこと・気付いたことなど、対話することで作品の観かた・感じ方が見つかります。鑑賞力・対話力もアップすると好評です。
ファシリテーター／春日美由紀さん(Art&Communication Lab.うるとらまりん)

*各催しについて詳しくは美術館までお尋ねください

お気軽にご参加ください

名碗を愉しむ会

要申込 / 開催日3日前まで

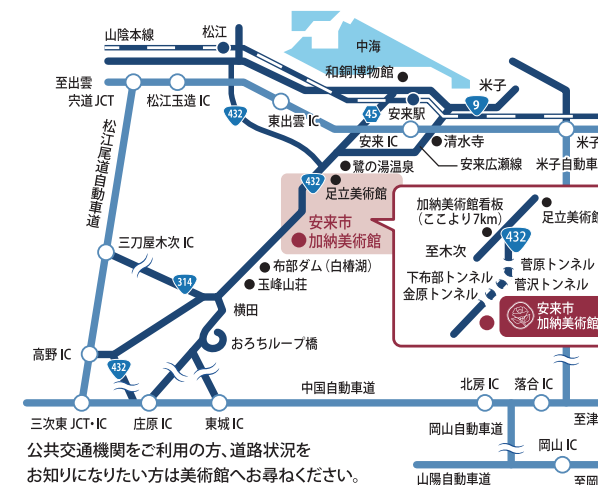
9月20日(日)
①10:30～
②13:30～

参加費/2,000円
(美術館入館料は別途)

定員
各6名



茶室 如水庵



レストランやまさを併設しています。

火曜日定休日
(祝日の場合は翌日)

30th YASUGI KANO MUSEUM OF ART

開館30年記念「加納美術館の30年」

2026年11月1日、安来市加納美術館が開館して30年を迎えます。

私設美術館としてスタートした当館は、24年前からは安来市の公設館となりました。

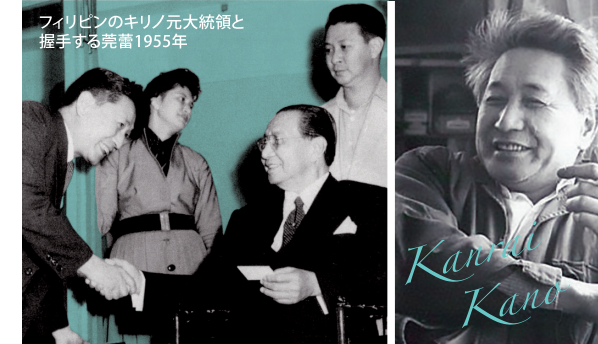
創設者の加納溥基と備前焼などのコレクションについてのエピソード、またこれまでの展覧会などを紹介し、地域と結んだ30年の歩みを振り返ります。

常設展

加納莞蕾展

「今願うー世界の平和を」

安来市出身の画家加納莞蕾(1904～1977)は、戦後日本人フィリピンBC戦犯の助命嘆願書をフィリピン大統領はじめ、世界の要人たちに送り続けました。その活動は世界の恒久平和への希求へと発展し、戦犯解放後もずっと続きました。莞蕾の活動は今、中学歴史教科書にも記され、次世代につながっていくとしています。莞蕾の平和への想いを絵画作品と資料を通じてごらんください。



フィリピンのキリノ元大統領と握手する莞蕾1955年

会期中の催し

トークイベント(講演会)会場／布部交流センター(美術館隣)

9月13日(日) 13:30～ 長谷川義史さんと四國光さんによるトークライブ
9月19日(土) 13:30～ 「映画『ラーゲリより愛を込めて』の
山本幡男と妻モジミに学ぶこと」岡田昌平氏

学芸員によるギャラリートーク

9月22日(火・祝)・10月4日(日)・10月12日(月・祝) 各①11:00～ ②13:30～